

ふるさと栗山で輝く町民をクローズアップ

きらり☆栗山人

獣医師

あぶかわ
虻川たかひで
孝秀さん

◎表彰式でスピーチを行う虻川さん。これまでの活動を振り返るとともに、支えていただいた方々への感謝の気持ちを伝えた。

令和4年度「町政功労者表彰」を受賞



今年2月には北海道産業貢献賞も受賞している虻川さん（写真右）

「栗山町の冠のついた名誉ある賞をいただき、大変うれしく思います」。そう話すのは、朝日3丁目在住の虻川孝秀さん。11月15日、カルチャープラザ「EKi」で町政功労者表彰式が開かれ、産業功労部門で表彰されました。

札幌市出身。酪農学園大学獣医学科を卒業後、昭和55年から農業共済組合に奉職し、家畜診療所の獣医師として診察や予防医療、人工授精など、36年にわたり栗山町をはじめ道内の家畜衛生向上に長年携わってきました。

虻川さんは昭和63年に栗山町に移住。「由仁町や長沼町での勤務があり、仕事の関係

もありましたが、なにより都市部への近さ、住みやすさ、自然の豊かさなどに魅力を感じました。そのタイミングで家も建てましたね」と当時を振り返ります。

現在は仕事を引退していますが、北海道獣医師会の役員や狂犬病の予防注射、さらには町の民生委員をつとめるなど、各方面で活躍されています。「今も活動の場をいただき、多くの方とお話する機会をもらっています。ゆっくりとした時間を過ごすことができ、時々遊びに来る孫とオンラインゲームをすることも最近の楽しみの一つです。もう少し、人生を楽しみたいですね」と笑顔で話します。

今回の取材の際、近所の方、仕事、子育てに関わった方などに対し、何度も感謝の気持ちを伝えていた虻川さん。この度は、受賞おめでとうございます。

